

令和3年度地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 黒部市 (都道府県: 富山県)

本事業の担当部局名 総務企画部企画情報課 婚活・男女参画係

事業メニュー	優良事例の横展開支援事業		
区分	結婚に対する取組		
関連事業メニュー	2.1.3 その他、各地域において結婚を希望する者の希望の実現を支援するための取組		
個別事業名	黒部市結婚支援事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	交付決定日 ~ 令和4年3月31日		
対象経費支出予定額 ※(注)1	2,140,600 円		
各区分における取組の全体像及びその中で本個別事業の位置付け ※(注)2	<p>黒部市では婚姻数、婚姻率の上昇を目指すとともに市全体の結婚機運を高めるため、黒部市結婚支援プロジェクトを立ち上げ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚支援相談員や結婚応援サポーター「こいサポ」のフォロー体制を充実する事業(本個別事業) ・結婚を望む独身男女に対し様々な形での出会いの場を創出する事業(本個別事業) <p>など、結婚を支援する事業を総合的に展開している。事業実施により、地域全体で結婚を応援する機運を醸成し、最終的には本市における未婚化・晩婚化の進行を食い止めることを目的としており、少子化対策における重要な取組として位置づけられる。</p>		
個別事業の内容	<p>(個別事業の内容) ※(注)3</p> <p><現状と課題> 黒部市の未婚率(20歳以上)は、2010年18.8%、2015年19.5%と増加傾向であり、なかでも40代男性の未婚率は4.91ポイント上昇している。平成20年ごろから民間団体等による婚活イベントなど散発的に実施されていたが、市事業としては平成29年度に結婚支援事業が立ち上がり、独身男女の結婚を応援する体制づくりやお見合い引き合わせなど、さまざまな取組を実施してきた。しかしながら、マッチングしてもその後の交際が長続きせず、成婚までなかなか至っていないのが現状である。 また、結婚支援を受けられる結婚支援希望者への登録数は、令和2年度様々な取組により、令和2年3月末の39名から、12月末には59名(男性37名女性22名)に増えたものの、男女比のバランスが悪く、加えて少ない会員数の中では新たなマッチングが生まれにくい。</p> <p><課題への対応> 将来的に結婚を考えている独身男女に、若い時期から婚活に取り組んでもらえるよう、結婚支援事業の認知度を上げるとともに、企業や地域団体や独身男女の息子、娘を持つ親世代などにもPRを図り、地域全体で結婚への機運を醸成する。また、婚活へのハードルを下げ、気軽に参加できるイベント等にて男女出会いの場を設定する。 交際→成婚に至るには、結婚応援サポーター「こいサポ」の適切なフォローが必要であるため、サポーターのスキルアップ研修を実施する。あわせて、独身男女自身の意識向上や魅力アップが必要であり、身だしなみやコミュニケーションスキル向上などブラッシュアップ講座を開催する。 結婚支援希望者への登録が、結婚への近道、登録してよかったと思ってもらえるよう、登録者が希望を持てる出会いの場創出など事業内容に改善を加える。また、将来的には結婚を望むものの婚活に踏み出していない独身男女がいることから、結婚支援希望者の掘り起こしを行う。企業や各種団体のイベント時に事業PRを図るとともに、企業や団体等と連携したイベント時に登録窓口を開設させていただくなど登録者の確保に努める。</p> <p>本個別事業では、結婚応援サポーター「こいサポ」のスキルアップを図るとともに、結婚支援希望者の意識向上、レベルアップを図るブラッシュアップ講座を実施する。 上記取組と、様々な形の独身男女の出会いの場創出事業を有機的に連動させ、マッチングから交際、成婚へとつなげる。</p> <p>①結婚支援プロジェクト委員会、結婚支援相談員及び結婚応援サポーター「こいサポ」による支援体制の強化・・・1,305,600円 結婚応援サポーター「こいサポ」は、結婚支援希望者の発掘やお見合いの引き合わせ、結婚支援希望者のフォローなどを行っている。初回お見合いの引き合わせ時のみに支援していたが、交際が始まってからその後の進捗伺いやアドバイスなど、より高度な結婚支援活動が求められることから、レベルアップ研修を実施する。 また、専門的な研修を受けた結婚支援相談員は、平日日中、携帯電話による相談対応に加えて、毎月3回対面による相談窓口を開設している。</p> <p>さらに、結婚支援プロジェクト委員会では、「こいサポ」のコアメンバーと結婚支援相談員と行政が一体となり、マッチング状況や婚活イベントの企画連携など、情報共有を図りながら改善を加えていく会議を開催し、総合的に結婚支援事業の取組を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚支援プロジェクト委員会委員手当 @4,000円×6人×12回=288,000円 ・結婚支援相談員報償費(対面相談窓口対応分) @5,000円×3回×12か月=180,000円 ・結婚応援サポーター「こいサポ」報償費(交通費、通信費等) @2,000円×20人×12回=480,000円 <p>以下、結婚支援プロジェクト委員会運営委託料に計上。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こいサポ」レベルアップ研修 講師謝礼(旅費込み) @55,000円×1回=55,000円 ・「こいサポ」活動保険料 @800円×20人=16,000円 ・「こいサポ」名刺印刷 20人分 マルチカード利用(1000枚入り) @5,000円 ・「こいサポだより」印刷費 @5円×2,000枚×2回=20,000円 ・結婚支援事業PRチラシ @5円×5,000枚=25,000円 ・ブラッシュアップセミナーチラシ @5円×5,000枚=25,000円 ・独身男女の出会いの場創出事業募集ポスター @250円×100枚=25,000円 ・独身男女の出会いの場創出事業PRチラシ @5円×3,000枚×3団体=45,000円 ・独身男女の出会いの場創出事業プロフィールカード作成用紙代等 5,000円 ・結婚支援事業PRポスター @250円×180枚=45,000円 ・結婚相談員相談対応携帯電話料 @5,000円×12回分=60,000円 ・結婚相談業務消耗品代 4,000円 ・結婚相談窓口会場使用料(毎月3回のうち、1回は市役所のため無料、2回市文化センター利用) @1,150円×2回×12か月=27,600円 		

②地域全体で結婚を応援する機運の醸成を図るセミナーの開催・・・200,000円(委託料)

結婚支援プロジェクト委員会が核となり、商工会や団体等との連携によるセミナーの開催(結婚支援プロジェクト委員会へ委託)
 独身者を抱える企業、本市と包括連携を締結している企業、各種団体が連携してライフプランを考えるセミナーを協働で開催する。
 セミナー募集定員:100名
 セミナー時には、結婚支援事業のPRを行い、結婚支援希望者登録ブースを設置し、登録者の確保を目指す。
 ライフプランセミナー講師謝礼 @100,000円(旅費込み)×1回=100,000円
 会場使用料(マイク等備品込み) 15,000円
 セミナー消耗品代 10,000円
 事業PRチラシ印刷費 @5円×10,000枚=50,000円
 事業PRポスター作成費(デザイン費込み) @250円×100枚=25,000円

③結婚支援希望者のブラッシュアップセミナーの開催・・・200,000円

成婚まで交際を継続できるよう、結婚支援希望者の努力を後押しするため、身だしなみやコミュニケーションスキル向上などブラッシュアップセミナーを開催する。(定員:各回15名)
 講師謝礼 @100,000円(旅費込み)×2回(男1回、女1回)=200,000円

④独身男女の出会いの場創出事業 ...435,000円(委託料)

単純にお見合いの設定ではなく、独身男女がなんらかの作業や体験を共同で行いながら、自然な交流・交際が生まれるような出会いの場を提供する。

想定される共同作業体験:スポーツ、キャンプ、釣り、クッキング、農作業、清掃作業など
 各事業定員:男性15名女性15名以上

様々な分野で実績がある団体等から事業内容の提案を受けられるよう募集し、応募のなかから結婚支援プロジェクト委員会にて3事業を選定する。

1事業 委託料145,000円×3事業=435,000円

委託料経費(講師謝礼、参加者障害保険料、会場使用料、広告料、事業用消耗品費、料理教室や体験教室等の材料費)

【次年度以降に向けた事業の方向性】

結婚支援事業に賛同し、協力していただける企業や団体等を増やし、地域全体で婚活を応援する機運を高める取組を進めたい。
 また、独身者が参加しやすい出会いの場の提供をし、「こいサポ」及び結婚支援希望者のレベルアップを図りながら、1例でも多くの成婚カップルを創出し婚姻数の増加、婚姻率の上昇を目指したい。

【事業実施にあたっての留意点】

本事業の実施にあたっては、実施要領記載の留意事項を踏まえて実施することとする。

個別事業の内容

	KPI項目	単位	目標値	現状値
・個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	結婚支援希望者新規登録者	人	30	20人 (R2.12)
	こいサポ登録者	人	20	15人 (R2.12)
	こいサポの支援に対する満足度	%	70	
	こいサポ研修後の意識変容の割合	%	70	
	結婚支援事業の認知度	%	70	
	独身男女ブラッシュアップセミナー参加者数(定員に対する割合)	%	100	
	独身男女ブラッシュアップセミナー参加者満足度	%	70	
	独身男女セミナー及び出会いの場参加後、婚活に対し前向きになった人の割合	%	80	
	独身男女の出会いの場参加者数(定員に対する割合)	%	70	
	独身男女の出会いの場参加者満足度	%	70	
	各種団体等連携によるセミナー参加者数(定員に対する)	%	90	
	各種団体等連携によるセミナー参加者満足度	%	70	
	出会いの場で結婚支援を実施したこいサポ人数(イベント毎)	人	3	
・他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)5	富山県で行っている結婚支援事業と連携を図り、イベント情報などを県のポータルサイトに掲載してもらうほか、県内の公共施設や「とやまマリッジサポートセンター」内にチラシ等を配置してもらうなど、連携を図る。			
・民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法※(注)6	黒部商工会議所や黒部市農協、男女共同参画黒部市連絡会など各種団体や企業などに事業PRや参加者募集のチラシ配布やポスター掲示など協力していただくほか、各団体等が開催するイベント等で本事業のPRブースを設置していただくなど連携を図る。			
・男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項 ※(注)7	※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合、記載してください。 (関係部局等) 総務企画部企画情報課婚活・男女参画係 (配慮すること) 事業全般にわたり、多様な生き方があることに十分配慮するとともに、特定の価値観を押し付けることないよう十分配慮する。			
・委託契約の有無及び契約方式 ※(注)8	※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合、記載してください。 <input checked="" type="checkbox"/> 有(以下の①～③から該当するものを選択してください) <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> ①企画提案方式(プロポーザル方式、コンペ方式) <input type="checkbox"/> ②競争入札方式 <input checked="" type="checkbox"/> ③随意契約 (事業の内容) 結婚支援プロジェクト委員会の運営			

	(随契の理由) 結婚支援にかかる取組を総合的かつ円滑に進めるため設置された組織であるため。
・システム等導入に係る管財部局の確認 ※(注)9	※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合、記載してください。 該当する取組の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 } <input type="checkbox"/> 無 取組名： 有の場合の担当部局：

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。

2「各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、区分(①結婚に対する取組、②結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組、③重点課題事業、④結婚新生活支援事業)ごとに、既存事業や他省庁補助金等事業なども含め、全体としてどのような取組を行うか、その中で、本個別事業がどのような位置付けにあるのか、どのように他事業との取組と連携しているのかを記載すること。

3「個別事業の内容」には、個別事業の具体的内容を記載すること。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。

4「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、本個別事業の各区分における取組全体像における位置付けを踏まえ、どのような考え方のもとどのくらいの効果が見込めるのか、それを測るためにどのようなKPI及び定量的成果目標を決定したか、達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は、個別事業ごとに効果検証を実施すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

5「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方策」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

6「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。

7「男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項」には、特定の価値観の押し付けとならないようにする観点から、計画策定に当たり連携した関係部局等及び事業の実施に当たり連携する関係部局等並びに事業の実施に当たり配慮することを具体的に記載すること(優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合)。

8「委託契約の有無及び契約方式」には、取組中の委託契約の有無及び有の場合には予定している契約方式を記載すること。また、競争性のない随意契約による契約を予定している場合は、事業の内容及び随意契約とする理由を記載すること(優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合)。

9「システム等導入に係る管財部局の確認」には、マッチングシステム、アプリの構築等のシステムに関する取組の有無及び有の場合には、事業の内容及び確認を行った部局名を記載すること(優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合)。